

目標達成計画

作成日: 平成 23年 10月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	・市の担当職員や、市との連携が運営推進会議の席のみの接点である。	・市の担当窓口に出向く機会を多くする。 ・運営推進会議の出席だけでなく、ホームの現状や課題など伝える機会を多くする。	・ホームの行事や日常の様子などお知らせを持参し、ホームから積極的に出向き、現状などを話し、課題などの御意見など頂くようにしていく。 ・地域の民生委員さんに声掛けして、他の窓口との接点も持っていく。	6ヶ月
2	4	・家族からの要望など、運営推進会議に出席できない家族が多い為、家族の意見などを聞く事が少ない。	・家族の思い、利用者の思いを理解していく。	・利用者の現状を理解して頂くよう、ホーム来所時は、スタッフが現状での問題点、課題をきちんと伝える。 ・家族にアンケートなどとして、問題点など伺い、良いケアに結び付けていくようにする。	6ヶ月
3	33	・現状維持が難しくなっていく利用者に対して、重度化した場合や終末期のありかたについて。	・利用者にあった個別ケアをしていく。 ・ホームで出来る事、出来ない事をきちんと家族に話し、家族の思いを聞く。	・状態が悪化してきた場合や食事が取れなくなった場合には、医師と相談し家族を交え説明と意思確認をして行く。	6ヶ月
4	35	・火災や地震などの災害時や、離苑などの場合、地域との協力体制をきづく為には。	・避難訓練時などは、地域の方の参加、家族の参加など声掛けをして行く。 ・離苑時など近所の協力を得るようにして行く。	・近所の協力を得られるように、避難訓練時は、回覧板を回してもらったり、チラシを配ったりし働きかけていく。 ・近くの店、交番にホームの事など知らせておき、何かあったら、連絡できる体制を作っていく。	6ヶ月